

タイトル

Network meta-analysis

テーマ紹介文

近年、利用可能なエビデンスを集約するための手法として、ネットワークメタアナリシス（Network Meta-Analysis：NMA）が、主に薬剤疫学分野で注目されている。NMAはメタアナリシスを拡張した統計手法であり、関心のある治療同士の直接比較を含む試験が存在しなくても、間接的にその治療効果を推定できるという特徴を持つ。そのため、従来のメタアナリシスよりも柔軟な解析が可能となる。本グループでは、臨床試験に携わる生物統計担当者を対象に、NMAの臨床開発段階への活用について産官学で議論を行う。具体的には、NMAについて、以下の2テーマを議論する。

- ・ NMAの具体的な事例を基に、NMAを実施する上で事前に規定しておくべき事項、NMAに含める臨床試験を選択する際の条件やその確認方法、NMAの解析モデルの使い分けや各モデルの結果の解釈、そのモデルの妥当性の判断方法等、NMAを自らが実施する上で疑問になる事柄について幅広く議論を行う予定である。
- ・ NMAの臨床開発段階への活用、特に臨床試験の計画に活用可能な場面については、多くの議論がなされているものの、その整理は十分になされていない。そこで、NMAの具体的な事例等も踏まえた上で、臨床試験の計画においてNMAがどういった点で貢献できるのか、また、その限界について議論を行う予定である。

最後にNMAの研究を行っているアカデミアの専門家、製薬工業協会のNMAタスクフォースの企業関係者、そして規制当局によるパネルディスカッションを行う。